

辺野古新基地も 戦争関連法も オスプレイ配備も

どれも撤回!!
これが唯一の解決策だ!



沖縄の新聞より号外 5月17日



戦争法案反対の国会前行動

第1次安倍内閣が崩壊した後、民主党政権が誕生しましたが、3年で再び安倍政権が復活し、狂ったように戦後レジームからの脱却を進めています。しかし、肝心の米国依存は脱却せず、ますます軍事同盟を強化して、明らかに矛盾をした政策を進めているところに安倍内閣の異常性が現れています。折しも横田基地にオスプレイを配備すると発表した直後、ハワイで墜落し死者まで出る欠陥オスプレイなのに、菅官房長官は「安全であると思う」などと普通の人では考えられない発言をしています。日退教は全国各地で反対運動を進めます。

キャンプシュワブゲート前の座り込みに参加し、 辺野古新基地建設を阻止しよう!!

日退教は、「普天間基地撤去、辺野古に新基地を作らせない」という方針を掲げ、5年連続して沖縄交流団を派遣し、沖縄県・高退教の仲間のみなさんと交流し、学習を深め運動を進めてきました。

しかし、沖縄県民の意思を無視して、安倍内閣は「辺野古移設こそ唯一の解決策」を繰り返して、埋め立ての準備を進めています。

私たちは、今こそ、沖縄の仲間だけに任せるのではなく、辺野古新基地建設反対行動に立ちあがりましょう!

5月17日の県民大会には、10数名の仲間も各地から参加をしました。

- 5月17日(日) 沖縄県庁前6:30集合
午後からは県民大会に参加
- 6月22日(月) 県庁前8:45集合
- 7月6日(月) 県庁前8:45集合
都高教退職者会の行動に合流
- 8月31日(月) 県庁前8:45集合
- 9月28日(月) 県庁前8:45集合
- 10月26日(月) 県庁前8:45集合

個人でも、単会の数人でも都合のよい日に参加できます。
申し込みは、各単会または日退教事務局へ。

日退教通信

No. 359

2015.6

日本退職教職員協議会
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(5)275-2197 FAX 03(5)275-2081
E-mail nitralkyo@gmail.com 〒427-0001 静岡県静岡市清水区藤原1-1-1
ホームページURL http://www.nitralkyo.com

NO NUKES

さよなら、原発!!
—この道しかない—

東電福島原発事故から、早4年が過ぎましたが、政府は原子力規制委員会の委員を推進派に入れ替え、再稼働に意欲を燃やしています。私たちは、将来いつ原発事故が起こるか分からない不安を抱えて生きていくより、再生可能なエネルギーのもとで安心して暮らしていくためにも、今後とも脱原発をめざして運動を進めます。3月8日には、日比谷野音会場で脱原発集会が、15日には福島で、そして3月28日には、鹿児島で川内原発再稼働反対集会・デモが行われました。集会には、それぞれ各単会の会員が参加して、脱原発、再稼働反対をアピールしました。



福島集会



日比谷野音での集会



藤本泰成
1000人委員会
事務局長



福島から



鹿児島から



福井から



一斉に原発NO! (日比谷)



鹿児島集会



退教協の旗もかけて

学習資料の紹介



更に詳しく学ぶには、
「子どもたちに残そう 核のない地球」
—私たちは もう騙されない— 500円 日退教に申し込む。



「みんなの放射能入門」
600円+税アドバンテージ
サーバーへ申込み
TEL 03-5210-9171
FAX 03-5210-9173
28のQ&Aになっていてカラー、図入り。
毎日1つずつ話してあげると、小学校高学年以上の子どもや孫も1か月でわかる。

「年金積立金運用の動向と課題」

——地公退・自治退合同幹部学習会から——

講師・連合総合政策局生活福祉局・照沼光二

「年金積立金はだれのもの？ 私たちの年金が危ない!!!」

～GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用とガバナンス（組織運営）の見直しについて～

1、公的年金の規模と役割

公務員の共済年金を含む公的年金制度全体の財政状況は、2014年度の予算ベースで、保険料34・3兆円に対し、給付は53・9兆円、国庫負担は11・9兆円で、不足分を年金積立金（154・5兆円）の運用で賄っている。

そのうち、厚生年金・国民年金の積立金約130兆円を管理・運用しているのがGPIFである。

2、GPIFとは

GPIFは、厚生大臣から委託を受け、年金積立金管理・運用を行っている。その収益を国庫に納付することにより、厚生年金保険事業および国民年金事業の運営の安定に資することを目的としている。また、GPIFは、長期的に維持すべき資産構成割合（ポートフォリオ）を定め、これを適切に管理するなど、安全かつ効率的な運用に努める

こととしている。

3、基本ポートフォリオとその変遷

GPIFは、「長期的な観点から安全かつ効率的な運用」を行うため、各資産を組み合わせた資産構成割合を定めている。この割合は次のように変わっている。

2013年6月7日現在で、国内の債券60%・株式12%、外国の債券11%・株式12%、短期資産5%（国内77%・外国23%）だったものが、2014年10月31日には、国内の債券35%・株式25%、外国債券15%・株式25%（国内60%・外国

40%）となっている。

このような変更は、GPIFに設置されている8人の学識経験者などによって構成されている運用委員会が行うことになっている。

4、基本ポートフォリオ変更の問題点

①年金給付の貴重な財源である年金積立金の運用を、被保険者の利益のためではなく、政権の「経済成長」政策遂行のための変更であること。

②安全資産とされてきた国内債券の比率を大幅に下げ、一方で、国内外の株式の割合を大幅に上げ、リスク性資産割合を高めた変更であること。

③保険料の拠出者である



「明治維新という過ち」
柴田 隆
「明治維新という過ち」
柴田 隆

労使や国民に対し、納得のいく説明がなまますまの変更であること。

このポートフォリオは、リーマンショック時の損失実績（約9・1兆円）をはるかに上回る損失発生の可能性があることは明らかで、複数の専門家がその額は「年間の保険料水準に匹敵する30兆円規模であろう」と指摘している。

GPIF運用委員8名の中で、連合推薦の菅家委員ただ一人が反対票を投じた。

（柴）



第86回メーデー中央大会 代々木公園



参加者全景



勿論、日退教も参加

第86回メーデー 好天のもとで開催！

今年も代々木公園で開催されました。退職者連合は、今年からテントを設けたので、日退教もテント近くに集結しました。連合古賀会長の次に登壇した、塩崎厚生労働大臣は、「少子高齢化が進み労働力不足が起ころるので、女性の労働力が必要だ……」との挨拶は、ひどい内容で、この程度の厚生労働大臣かと思った次第です。



韓国 独立記念館入口(右下は人物)

第2回東アジア海外研修旅行

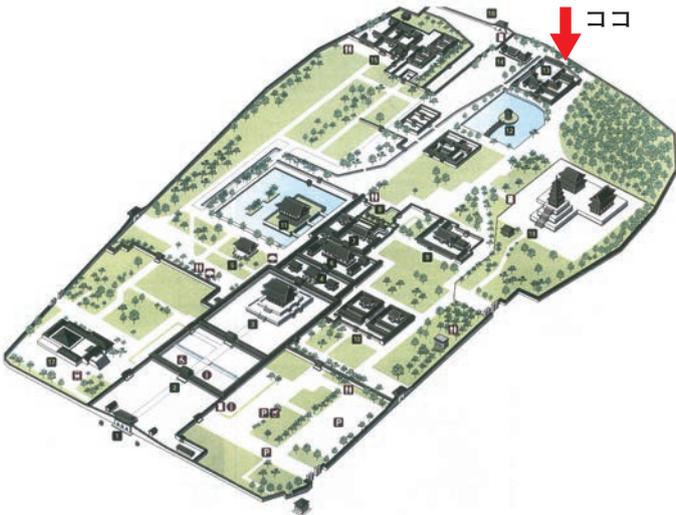
(10月6～9日、3泊4日 韓国)

朝鮮に対する日本の侵略を学ぶ旅

参加者募集中

第1回東アジア研修旅行は、2014年10月、中国の西安を中心に中国の人たちとの交流と、3つの世界遺産を巡る旅を、初めて「悠悠ライフ」で呼びかけて実施しました。

さて、今年は、敗戦70年、日韓



景福宮全景、一番奥(右上)に明成皇后が暗殺された乾清宮がある

条約締結50年そして朝鮮王朝第26代高宗王の妃である明成皇后(閔妃)を日本人らが暗殺してから120周年の節目の年にあたります。

日本は1945年、無条件降伏のポツダム宣言を受け入れ、20年後の1965年には韓国との間に不十分なながら日韓条約を締結しました。

10月8日の明成皇后暗殺については、政府・国会そして司法も謝罪すらしていない状況が120年間も続いています。

1910年に日本は朝鮮を植民地にして、1945年の敗戦によって朝鮮は解放されました。しかし、敗戦後、東西冷戦、米国の政策転換、朝鮮戦争等によって、河野談話や村山談話まで謝罪もせず、無視する態度をとってきました。それが、

月日	都市	スケジュール
2015 10/6 (火)	羽田 関空 福岡	東京組 アシアナ航空にて、金浦空港へ 関空組 アシアナ航空にて、金浦空港へ 福岡組 アシアナ航空にて仁川空港へ ・安重根記念館・西大門刑務所・西大門独立公園 ・景福宮・閔妃暗殺場所・柳寛順の像
10/7 (水)	全州 ソウル	・天安の独立記念館 ※3面に写真 ・ナムムの家(日本軍「慰安婦」歴史館) ・伝統芸能の鑑賞(貞洞劇場、伝統芸能専用劇場)
10/8 (木)	ソウル 南楊州	・東九小学校訪問・参観 李方子墓参 120周年「忌辰祭(法要)」12:00～13:00 ・浅川巧共同墓地 ・タブコル公園 ・仁寺洞(ショッピング街) ・夕食交流会(洪陵奉香会)
10/9 (金)	ソウル 羽田 関空 ソウル 福岡	・「戦争と女性の人権博物館」 ・国立博物館・昼食 東京組 アシアナ航空にて、金浦航空より羽田へ 関空組 アシアナ航空にて、金浦航空より関空へ 福岡組 アシアナ航空にて仁川空港より福岡へ

現在の安倍晋三首相にも色濃く表れています。日退教は、多くの会員に参加をしていただき、植民地の記録・記憶をまなび、現政権に批判をしながら、真の友好関係を模索していくつもりです。

今回は、左記の日程で実施しますが、見学場所の説明は掲載できませんので、参加希望者は、ファックス(03-5275-2081)・住所、名前、電話番号を記載して下さい)で申し込んでください。正式な申込書、資料などは、7月にお送りします。なお、7月発行の「悠悠ライフ」第61号にも掲載します。

◆ 編集後記 ◆

友人の facebook に「少し見直しました。『知ったかおじさん』とはもう言いません」との記述があった。それはジャーナリストの池上彰氏が、4月24日付の朝日新聞朝刊に掲載された自身のコラム「新聞ななめ読み」で、自民党がテレビ朝日の「報道ステーション」とNHK「クローズアップ現代」で事実でないことが報道されたとして、両局の幹部を呼んで事情聴取したというところについて「自民こそ放送法違反では」と疑問を呈した記事であった。

この問題は「報道ステーション」でコメンテーターの元官僚、古賀茂明氏が「菅官房長官をはじめ、官邸のみならずにはものすごいバッシングを受けてきた」などと発言したことで、NHKの「クローズアップ現代」で「やらせ」があったと指摘されていることだ。

さらに、コラムの冒頭、「これが欧米の民主主義国で起きたら、どんな騒動になることやら」と書き出し、「言論の自由・表現の自由に対する権力のあからさまな介入であるとして、政権基盤を揺るがしかねない事件になるはずです」と厳しく指摘した。

また、このコラムとは別に4月28日付の同紙で、ドイツ有力紙の元東京特派員が今月、離任に際して書いた「告白」記事が報じられた。昨年来「日本の外務官僚たちが、政権の批判的な記事を大っぴらに攻撃しているようだ」と指摘している。寄稿が明らかにしたのは、外務省の抗議がドイツ本社編集者にまで及んだということだ。政権批判を一切許さない「裸の王様」が率いるこの体制は、いつまで続くのか? (中)